

## 動物由来感染症発生状況（令和6年度）

○主な感染症の発生件数(合計) 454件 (その他の感染症報告 21件 合計475件)

○主な感染症の種別発生ランク

種別	発生件数順位		件数
感染症	1位	マラセチア症	133
	2位	回虫症	123
	3位	皮膚糸状菌症	67
病原体	1位	寄生虫	213
	2位	真菌	200
	3位	原虫	35
地域※	1位	乙訓地域（2定点）	51.5
	2位	中丹地域（3定点）	44.0
	3位	南丹地域（3定点）	30.3
動物	1位	猫	252
	2位	犬	201
	3位	ウサギ	1

※ 地域別発生件数: 1定点あたりの発症件数に換算

○考察

令和6年度は、年間を通してマラセチア症、回虫症が多く、例年とおりの傾向が見られました。

マラセチア症や皮膚糸状菌症といった真菌が原因の感染症は、夏季に多く冬季は減少する傾向も例年とおりに確認されました。

動物との濃厚接触を避けるとともに、動物を触った後や糞尿の始末をした後は、手洗いの励行が重要です。

また、定点の動物診療施設から重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の猫の発生報告が2件あったほか、積極的疫学調査の結果、動物愛護センターの保護動物（犬及び猫）33検体のうち、犬2検体がSFTSウイルスの抗体陽性でした。

ペットのマダニ対策を継続的に行うことが重要です。

動物由来感染症発生状況（令和6年度）

【主な感染症】

病原体	感染症	京都市(4定点)				乙訓(2定点)				山城(3定点)				南丹(3定点)				中丹(3定点)				丹後(2定点)				計			
		件数	犬	猫	その他	件数	犬	猫	その他	件数	犬	猫	その他	件数	犬	猫	その他	件数	犬	猫	その他	件数	犬	猫	その他	件数	犬	猫	その他
ウイルス	狂犬病																												
	高病原性鳥インフルエンザ(H5N1)																												
	H5N1を除く鳥インフルエンザ																												
	新型インフルエンザ等感染症																												
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア	オウム病																												
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌	結核																												
	ブルセラ症																												
	レプトスピラ症	2	2															1	1										
	カンピロバクター症	2		2															1	1									
	パストレラ症																												
	エルシニア菌症																												
	小計	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	6	4	2	0
原虫	ランブル鞭毛虫／ジアルジア症	12	6	6														7	6	1									
	トキソプラズマ症																												
	小計	12	6	6	0	0	0	0	0	8	4	4	0	8	6	2	0	7	6	1	0	0	0	0	0	35	22	13	0
真菌	皮膚糸状菌症	8	2	6		32		31	1	2		2		9	2	7		16	11	5									
	マラセチア症(耳介のみの発症は除く)	52	52			2	2			17	17			7	6	1		55	55										
	小計	60	54	6	0	34	2	31	1	19	17	2	0	16	8	8	0	71	66	5	0	0	0	0	0	200	147	52	1
寄生虫	マンソン裂頭条虫					21		21		3		3		22	2	20		16	5	11		4		4		66	7	59	0
	エキノコックス																												
	回虫症	3	2	1		48	2	46		3		3		35	7	28		29	1	28		5		5		123	12	111	0
	東洋眼虫																					1		1					
	鉤虫症									4	1	3		7	1	6		4	1	3									
	顎口虫																												
	疥癬症(耳疥癬症を含まない)									2	2			3	2	1		3	2	1									
	小計	3	2	1	0	69	2	67	0	12	3	9	0	67	12	55	0	52	9	43	0	10	0	10	0	213	28	185	0
合計		79	64	15	0	103	4	98	1	39	24	15	0	91	26	65	0	132	83	49	0	10	0	10	0	454	201	252	1
1定点あたりの発症件数(発生数/定点数)		19.8				51.5				13.0				30.3				44.0				5.0				26.7			

【その他の感染症】

病原体	感染症	京都市(4定点)				乙訓(2定点)				山城(3定点)				南丹(3定点)				中丹(3定点)				丹後(2定点)				計			
		件数	犬	猫	その他	件数	犬	猫	その他	件数	犬	猫	その他	件数	犬	猫	その他	件数	犬	猫	その他	件数	犬	猫	その他	件数	犬	猫	その他
ウイルス	SFTS												1		1					1		1			2	0	2	0	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	2	0	
クラミジア																								0	0	0	0		
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌																								0	0	0	0		
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
原虫																								0	0	0	0		
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
真菌																								0	0	0	0		
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
寄生虫	瓜実条虫																7		7					7	0	7	0		
	糞線虫																1	1						1	1	0	0		
	ツボ型吸虫																1		1					1	0	1	0		
	コクシジウム症												1		1									1	0	1	0		
																								0	0	0	0		
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	9	1	8	0	0	0	0	10	1	9	0		
節足動物	ツメダニ					9			9															9	0	0	9		
	小計	0	0	0	0	9	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0			
合計		0	0	0	0	9	0	0	9	0	0	0	0	2	0	2	0	9	1	8	0	1	0	1	0	21	1	11	0
1定点あたりの発症件数(発生数/定点数)		0.0				4.5				0.0				0.7				3.0				0.5				1.2			

動物由来感染症動物種別発生状況(令和6年度)

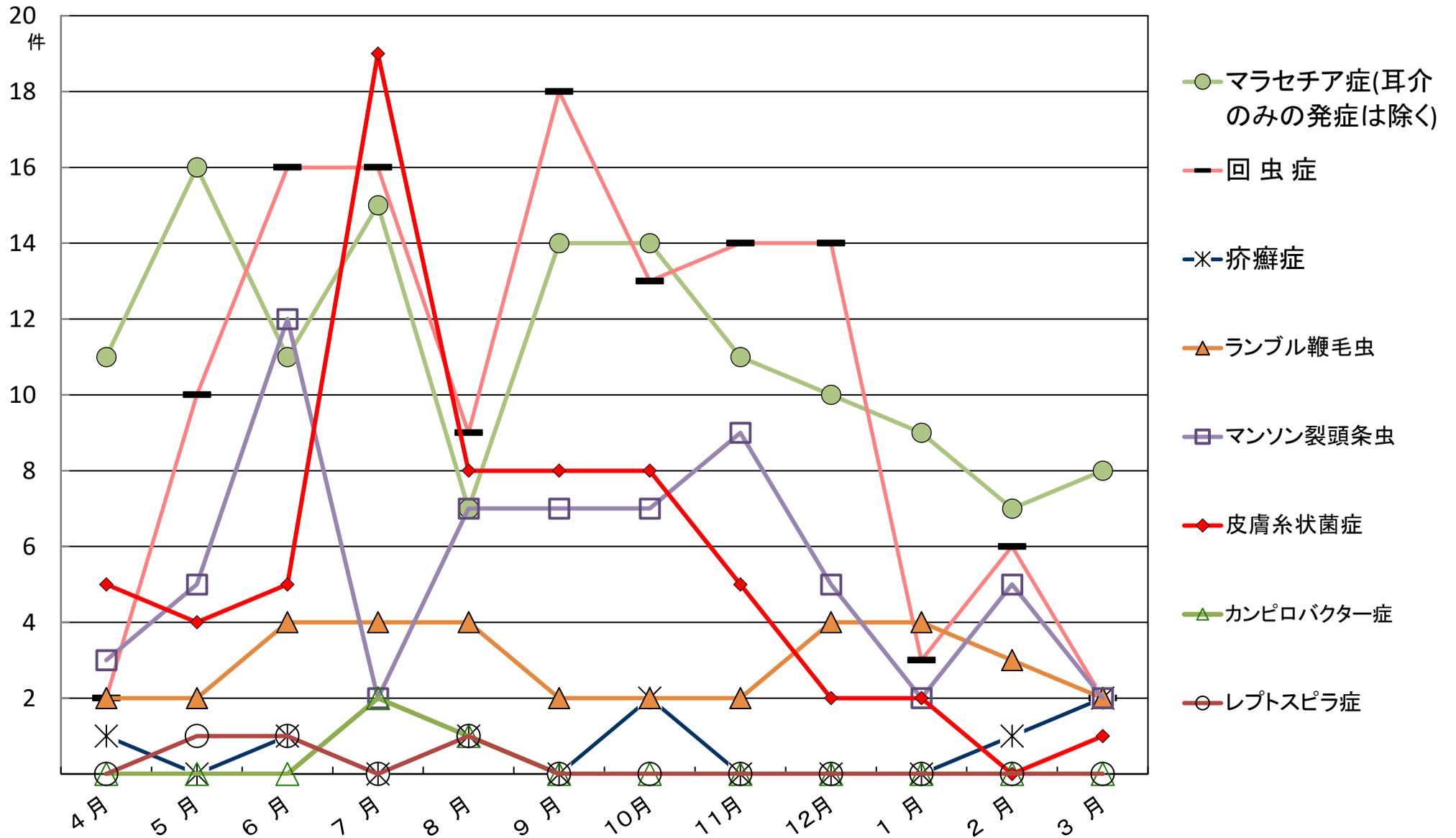
【主な動物感染症】

属	感染症	犬			猫			その他	計
		件数	成犬	幼犬	件数	成猫	幼猫		
ウイルス	狂犬病								0
	高病原性鳥インフルエンザ(H5N1)								0
	H5N1を除く鳥インフルエンザ								0
	新型インフルエンザ等感染症								0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア	オウム病								0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌	結核								0
	ブルセラ症								0
	レプトスピラ症	3	3						3
	カンピロバクター症	1		1	2	2			3
	バスタツレラ症								0
	エルシニア菌症								0
	小計	4	3	1	2	2	0	0	6
原虫	ランブル鞭毛虫/ジアルジア症	22	6	16	13	5	8		35
	トキソプラズマ症								0
	小計	22	6	16	13	5	8	0	35
真菌	皮膚糸状菌症	15	11	4	51	16	35	1	67
	マラセチア症(耳介のみの発症は除く)	132	130	2	1	1			133
	小計	147	141	6	52	17	35	1	200
寄生虫	マンソン裂頭条虫	7	7		59	46	13		66
	エキノコックス								0
	回虫症	12	2	10	111	31	80		123
	東洋眼虫				1		1		1
	鉤虫症	3		3	12	6	6		15
	顎口虫								0
	疥癬症(耳疥癬症を含まない)	6	6		2	1	1		8
	小計	28	15	13	185	84	101	0	213
合計	201	165	36	252	108	144	1	454	

【その他の動物感染症】

属	感染症	犬			猫			その他	計
		件数	成犬	幼犬	件数	成猫	幼猫		
ウイルス	SFTS				2	2			2
	小計	0	0	0	2	2	0	0	2
クラミジア									0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌									0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
原虫									0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
真菌									0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
寄生虫	瓜実条虫				7		7		7
	糞線虫	1		1					1
	ツボ型吸虫				1	1			1
	コクシジウム症				1	1			1
									0
	小計	1	0	1	9	2	7	0	10
節足動物	ツメダニ							9	9
	小計	0	0	0	0	0	0	9	9
合計				11	4	7	9	21	

動物における人と動物の共通感染症月別発生推移（令和6年度）



# 令和6年度積極的疫学調査（SFTS抗体検査）結果

（動物愛護センター・保健環境研究所）

検体No.	採取年月日	センター搬入年月日	搬入保健所	引取・保護	種類	性別	大きさ	毛色	推定年齢	検査結果	備考	
犬	1	2024年2月2日	2024年2月2日	丹後	引取	雑種	♀	大	薄茶	13才	陰性	多発性乳腺腫
	2	2024年2月6日	2024年2月6日	山城北	引取	トイ・プードル	♂	中	茶	17才	陰性	
	3	2024年2月9日	2024年2月8日	中丹西	引取	雑種	♂	中	茶	5才	陽性	咬み犬？
	4	2024年2月20日	2024年2月13日	山城北	保護	雑種	♀	中	茶	2-3才	陰性	
	5	2024年3月12日	2024年3月12日	山城北	保護	雑種	♂	大	黒	13-15才	陰性	重度消瘦、貧血 3/15死亡
	6	2024年3月12日	2024年3月12日	山城北	保護	雑種	♀	中	虎毛	6-7才	陰性	
	7	2024年3月12日	2024年3月12日	山城北	保護	雑種	♂	中	黒	7-9才	陰性	
	8	2024年3月22日	2024年2月29日	中丹西	引取	雑種	♂	中	茶	1才	陰性	咬み犬？
	9	2024年4月9日	2024年4月9日	山城北	保護	雑種	♀	中	茶黒	2-3才	陰性	
	10	2024年4月12日	2024年4月11日	中丹東	保護	トイ・プードル	♀	小	茶	7-9才	陰性	
	11	2024年5月28日	2024年5月28日	山城南	保護	雑種	♀	中	茶黒	5-6才	陰性	マダニ検体あり
	12	2024年6月21日	2024年6月21日	丹後	引取	雑種	♀	中	白	2-3才	陰性	
	13	2024年6月21日	2024年6月21日	丹後	引取	雑種	♀	中	キジ白	1-2才	陰性	
	14	2024年6月21日	2024年6月21日	丹後	引取	雑種	♀	中	キジ白	3-4才	陰性	
	15	2024年6月21日	2024年6月21日	丹後	引取	雑種	♀	中	キジ白	3-4才	陰性	
	16	2024年6月21日	2024年6月21日	丹後	引取	雑種	♀	中	キジ白	3-4才	陰性	
	17	2024年6月28日	2024年6月26日	山城南	引取	雑種	♂	中	白	16才	陰性	
	18	2024年7月2日	2024年7月2日	山城北	保護	柴系	♂	中	茶白	10歳前後	陰性	
	19	2024年8月6日	2024年8月6日	山城北	保護	柴系	♂	中	茶白	10歳前後	陰性	
	20	2024年8月16日	2024年8月13日	山城北	保護	雑種	♀	中	黒茶	1-2才	陽性	
	21	2024年10月8日	2024年10月7日	南丹	保護	雑種	♀	中	茶	1-2才	陰性	
	22	2024年10月18日	2024年10月18日	丹後	引取	雑種	♂	中	茶	15才	陰性	
	23	2024年12月27日	2024年12月27日	山城南	保護	M.ダックス	♂	小	黒茶	15才以上	陰性	後肢脚弱、白内障、認知症様、毛玉だらけ、削瘦
	24	2025年1月14日	2025年1月16日	山城北	引取	M.ダックス	♂	小	茶	14才	陰性	皮膚苔癬化
	25	2025年1月14日	2025年1月16日	山城北	引取	シーズー	♀	小	白茶	15才	陰性	乾性角結膜炎、乳腺腫瘍、右肢端腫瘍、脂漏症
猫	1	2024年2月15日	2024年2月15日	中丹西	引取	雑種 成ネコ	♂	中	白黒	2-5才	陰性	FIV
	2	2024年2月15日	2024年2月15日	中丹西	引取	雑種 成ネコ	♀	中	白黒	2-5才	陰性	FIV
	3	2024年5月31日	2024年5月31日	南丹	負傷	雑種 成ネコ	♀	中	白薄茶	10才以上	陰性	FIV陽性 削瘦 黄疸
	4	2024年6月28日	2024年6月27日	中丹西	負傷	雑種 成ネコ	♀	中	キジ白	2-3才	陰性	
	5	2024年7月4日	2024年7月4日	中丹東	負傷	雑種 成ネコ	♀	中	ミケ	1-2才	陰性	黄疸あり
	6	2024年7月4日	2024年7月4日	中丹東	引取	スコティッシュ系成ネコ	♀	中	サバ	5才	陰性	
	7	2024年7月26日	2024年7月26日	南丹	負傷	雑種 幼ネコ	♂	小	白キジ	2か月程度	陰性	
	8	2024年8月30日	2024年8月27日	山城南	負傷	雑種 成ネコ	♀	中	キジミケ	2-3才	陰性	FIV陽性 削瘦 後肢麻痺